おはなしシリーズ 3

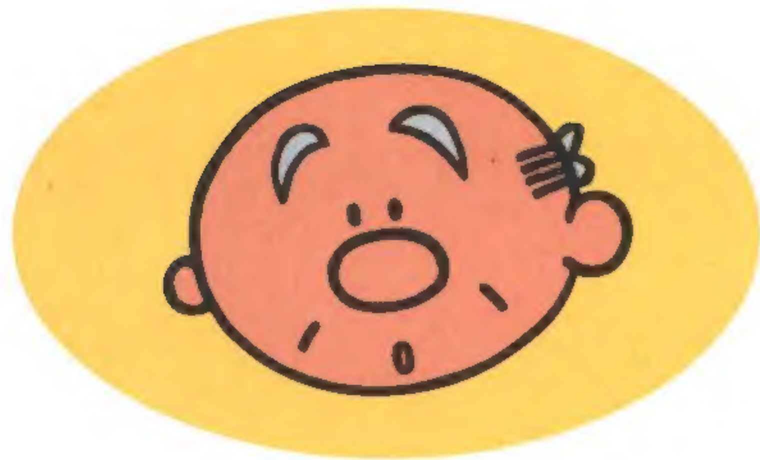
おむすびころりん







はたらきものの　おじいさんが　いました。
きょうも　はたけで　のらしごと。
おひるに　なったので　おべんとうを　たべていると
おむすびが　ころころ　ころがり
あなに　おちてしまいました。



おじいさんが　あなを　のぞくと
なかから　うたごえが　きこえてきました。
「おむすび　ころころ　すっとんとん。」
おじいさんは　あなの　なかに
おむすびを　もうひとつ　おとしてみました。

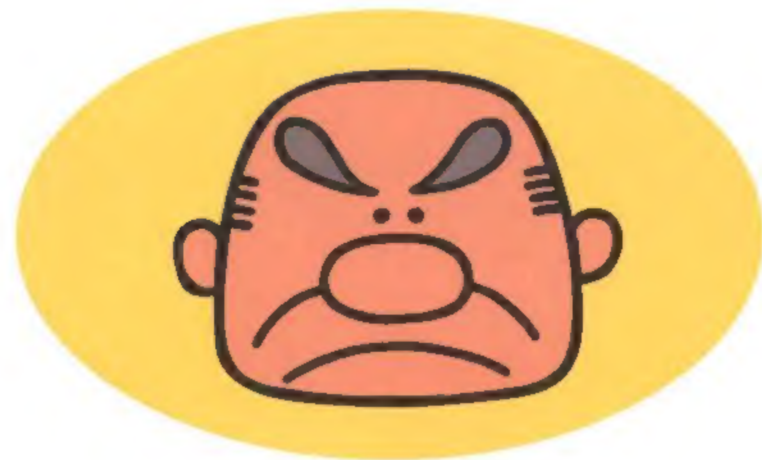


「おむすび　もひとつ　すっとんとん。」
「これは　ゆかいだ　わしも　はいってみよう。」
おじいさんは　ころころ　ころがっていきました。

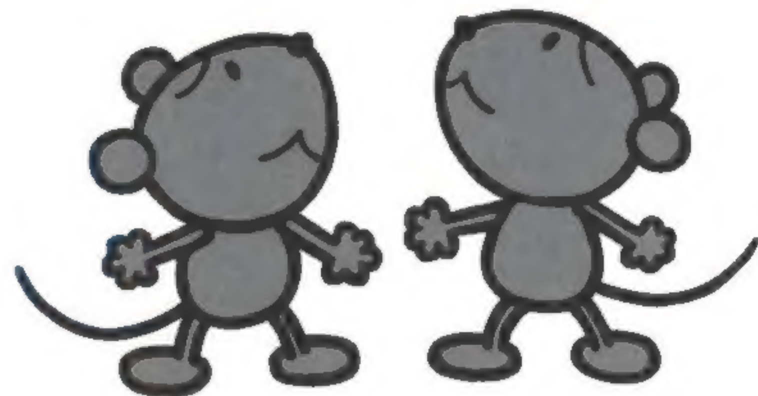


あなの　そこは　ねずみの　くに。
「おむすび　ころころ　すっとんとん。
おじいさん　おむすび　ありがとう。」
ねずみたちは　うたいながら　おもちを　ついていました。
みんなで　おもちを　たべたり　うたったり。
おじいさんは　ねずみたちと　たのしく　すごしました。





いえに　かえった　はたらきものの　おじいさん。
おばあさんに　ねずみの　くにの　はなしを　して
ねずみたちに　もらった　はこを　あけると
なかから　こばんが　たくさん　でてきました。
となりの　よくばりじいさんが　この　ようすを
こっそり　みていました。



よくばりじいさんは　いそいで　はたけに　いって
あなの　なかに　おむすびを　なげこみました。
「おむすび　ころころ　すっとんとん。」
よくばりじいさんは　ねずみの　うたごえを　きいてから
あなに　はいって　ごろごろ　ころがっていきました。

「ねずみを　おどろかせて　こばんを　ひとりじめしよう。
ねこが　きたぞ　にゃー　にゃー　にゃー。」
ねずみたちが　びっくりして　にげだしたので
あたりは　まっくらになり　かえりみちも　みえません。
よくばりじいさんは　あなから　でられなくなりました。

